

医学を伝えるシゴト

メディックメディア 医学部出身編集者 座談会

医学部出身者
社員募集中!

はじめまして。
メディックメディア
編集部・編集長のM.Uです。
小社では、『病気がみえる』や新しい
サービスの立ち上げのため医学部出身者の社員
募集を行っています。
そこで、今回、ご検討いただける方の参考に
なるようメディックメディアですでに活躍して
くれている医学部出身社員を集めて、話を聞いて
みました。

M.U 「医師免許を取得した人材で、モノづくりのセンスがあるような人材がいれば、チームに加わってもらって、もっと分かりやすい使いやすい医学書を一緒に出していきたい！」って思うんです。だから、今日は、みんなと話しながら、どういう人材が向いているか、具体的に考えてみたいな、と。

M.T どういうコンテンツをこれから出していくのかによっても、求める人材は変わってきます？

M.U そうだね。まず、『病気がみえる』の新刊を増やしたり、改訂したりしてパワーアップさせていきたい。あとは『みえる』系の新企画だね。『薬がみえる』シリーズとか。
監修の先生は多忙だし、多くの場合は図版を考えて描くことが得意じゃないから、『みえる』系の本は、図版の原案を編集部で作って先生に提案していくんです。一つ一つの図版を考えるだけでなく、パワーポイントでプレゼンするときの要領で、どういう順番でどういう図版をみせていくかも考えていく。で、先生と打ち合わせして図版を磨いていくんですね。だから、**絵を描くのが好きだけでなく、“伝える”ことに凝る人が『病気がみえる』系の本に向いていると思う。**
A.Mさんは、『病気がみえる』や『薬がみえる』の図案制作で活躍していますが、学生時代はどのようなタイプでした？

M.T 学生時代は、ノートをまとめるのが好きでしたね。解剖や生理、疾患を臓器ごとにまとめたり、色分けをしたりするのが楽しかった。

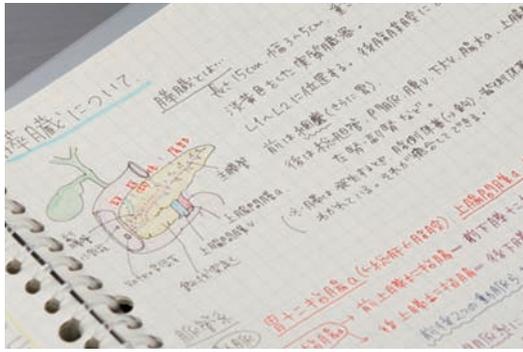


A.M 私大医学部出身。
卒業後入社。
『病気がみえる』シリーズに携わる。

M.U メディックメディアに入社したのはなぜでしょう？

A.M 医師になることも考えたのですが、医学部以外に医学部で学んだことを活かせる仕事がないかと検索して、メディックメディアのホームページを開いたのがきっかけですね。

M.U A.Mさんのような人材は「クリエイター型」の編集者といえる。『病気がみえる』に掲載するイラストはプロのイラストレーターが描いていますが、その原案を考えることは本づくりの中で一番重要な役割です。医学教育を受けているからこそ、一緒に図版のアイデアを練っていく僕たち編集者にとって「クリエイター型」の医学部出身者は非常に頼もしいパートナーとなります。こうした人材とチームをつくって



医学部系社員の学生時代のノート。



医学部系社員が入社後に描いた『病気がみえる』の図案。

完成させた『病気がみえる vol.7 神経』は空前の大ヒットになったのは記憶に新しい。もちろん、メディックメディアの編集者になるには、絵を描くのが得意でないとできないかといえばそれは全然違います。むしろ典型的な編集の仕事は企画や進行管理であり、映画に例えれば**プロデューサーやディレクター**の役割に近い。

M.Tさんはそういう意味では一番典型的な医学部出身の編集者といえるね。メディックに入ったきっかけは？

M.T 僕の場合は、もともと教育に興味があって、医学部出身として何かできないかと考えていたんですが、広告でメディックメディアが医学部出身者も社員募集していると知ったのがきっかけですね。

M.U で、入社後、国試対策系コンテンツの企画や編集、営業まで幅広く活躍してくれたんだけど、いったん研修医として臨床に戻った。

M.T ハイ。メディックは社長が医師だけに臨床医への復帰は積極的に応援してくれていて。だから、編集をある程度経験したので、一度臨床を経験してみよう。

M.U コンテンツ制作に関わる中で、臨床の経験を積むことの意義まで考えてくれた。モノづくりに誠実ですごく応援したいです。

彼は、一般の編集者が持ちにくい医学知識をもつと同時に、プロデューサー的な編集者としての資質があると思う。こういう人材には**書籍というワケにとらわれず新しいサービスの企画を任せていきたいですね。**



M.T 国立大医学部出身。医学部卒業後、入社。編集から営業企画まで幅広く活躍した後、研修医になっても度々遊びに来てくれます！



ドクターから頂いた画像をチェック中！学生時代の経験をもとにいかにも良いコンテンツにできるかを考えます。学生さん向けのパワポのスライドにも凝ってくれました。

M.U で、次はY.Kさん。彼もA.Mさんのように絵を描くことが得意なんだけど、アイディア重視の図案制作型というより、画力重視の**イラストレータータイプ**。実際、入社前にはイラストレーターとして活動していたわけだけど、それはなぜ？

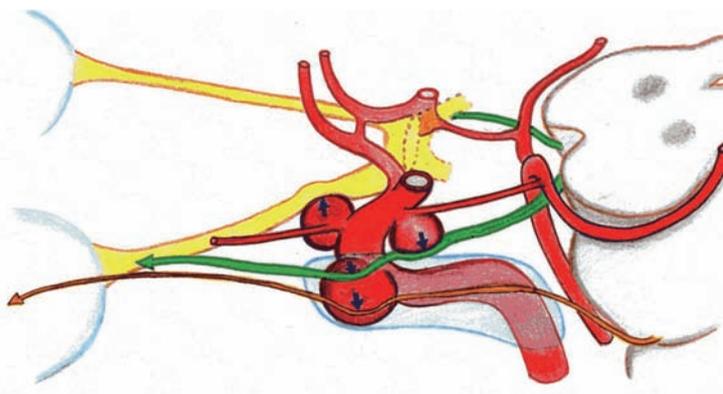


Y.K 国立大医学部出身。
大学卒業後、イラストレーターとして活動。その後、上京しメディックメディアに入社。2013年から研修医に。

Y.K 在学中からデザインや音楽など、モノづくりに関わる仲間が多く、現代美術の作家にも刺激を受けながら、毎日絵を描いていたんです。大学では、組織学の実習で深夜までスケッチをするような学生でした。医学の勉強自体は好きでしたが、医療現場よりもモノづくりに魅かれ、卒業後はそのまま絵を描く生活を選んだんですね。イラストやデザインの他、様々な職業を経験した後にメディックを受けたのですが、医学とモノづくりの両方に関われるメディックの仕事は、自分に一番合っていると思います。

M.U 彼のように、編集というよりもイラストレーターに近い方は、イラストレーターとして応募するのもアリですね。

そして、A.Yさん。A.YさんはIT系に強く『QB ONLINE』などで活躍してくれています。もともとパソコンに強かったの？



Y.Kの描いた脳動脈瘤の図。リアルさを保ちつつも初学者が分かりやすいよう重要なポイントには強調。医学部出身だからこそ描けたイラスト。

A.Y はい。大学進学時は医学に進むか電子工学に進むか悩んだ末に医学部を選んだのですが、入学後も個人のウェブページの作成やプログラミングなどをずっと続けていました。

M.U で、臨床よりも“伝える”仕事に興味を持ち始めたのですね。

A.Y はい。臨床に出るつもりも一応あったのですが、INFORMAの記事をみてメールで問い合わせたら話が進んで、入社という運びになりました。最近『QB ONLINE』をはじめ、社内のおちこちでオンラインサービスやアプリ化の話が進んでおり、医学の知識とITの知識の両方を活用しながらユーザーに役立つモノづくりができて、すごく楽しいです。

M.U これからの時代、デジタルサービスはどんどん強化していきたいのでIT系に強い医学生にもどんどん入ってきてほしいと思います。

ところで新人のA.Mさんは先輩に聞きたいことはありますか？

A.M どういう人がメディックメディアに向いてるのでしょうか？

M.T 医学の勉強が好きでなければ向かないと思う。トップランナーの先生方と打ち合わせをすることが多く、学生るとき以上に必死で勉強しているくらいです。医学部に入ったほうがいいものの医学の勉強が好きでない・ついていけない…という人は向かない。あと、**アウトプットする力が重要**。

M.U あと、その人の個性や特技を重視したい。例えば日々たくさんの知らない人とのコミュニケーションが必要な職場は苦手であっても、あるいは臨床は得意でなくても、医学知識を活かして社会に貢献できる優れた人材はいる。コンテンツをつくりたいとか、プログラミングが得意とか…そういう人にもっと活躍してもらいたい。



A.Y 国立大医学部出身。大学卒業後、メディックメディアに入社。

※ こんな人材をメディックメディアは求めています! ※

どのタイプでも必要になってくる資質

- 1 医学の勉強が好き
- 2 人と共同作業ができる

プロデューサー型の編集の適性

- 1 人をまとめるのが得意
- 2 企画を考えるのが好き
- 3 人に勉強を教えるのが得意
(家庭教師、予備校講師、勉強会など)

クリエイター型の編集の適性(下記いずれか)

- 1 図やスケッチを描くのが好き、得意
- 2 文章を書くのも好き、得意
- 3 ノート凝って作っていた
- 4 プログラミングや語学などの特技がある

イラストレーター型の適性

- 1 絵を描くのが好き、得意
(美大にも行きたかったなど)
- 2 Adobeのソフト、「Illustrator」や「InDesign」などに関心がある

A.M なるほど! 私もがんばります!

M.U 期待してます! あと、妊娠や育児で現場の仕事ができない間のみアルバイトとして原稿制作を希望される方もいらっしゃいます。こちらお問い合わせを受け付けております。それでは、誌面の都合上、ここで終わりにしましょう。新しい仲間が増えたらいいなと思います。ご関心がある方は、**小社ホームページにある採用情報**をご覧ください。お気軽にご相談ください。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

Q 初任給はいくらですか?

A 月給で343,000円で、昇給と年2回のボーナスがあります。実績によりますが30歳時(24歳で入社の場合)のモデル年収は900~1,000万円です。

Q いつ応募するのがよいですか?

A 年間を通じ募集をしています。ただし、マッチングで内定したあとのご応募は、原則として認めておりません。

Q 医師の仕事に戻ることはできますか?

A 積極的に応援しています。実際、小社で活躍した編集者を研修医として送り出しています。

Q 応募したら必ず内定をもらえるのでしょうか?

A 採用試験と面接があり、結果としてご期待に添えないこともあります。ご注意ください。

Q 採用試験はどのようなものですか?

A 実際に体験してみるのをお互いにとって一番良いので、数日程度、インターンとして働いてみてもらう場合が多いです。バイト代が支給され、地方の方の場合、宿泊費も支給されます。

お問い合わせ先 電話: 03-3746-0282 (採用担当宛) e-mail: saiyo@medicmedia.com